

## 全教育計画を明らかにせよ！

「平成22年度社員教育について」業務委員会開催

3月11日、本部は「平成22年度社員教育について」業務委員会を開催しました。会社は、平成22年度の主な取り組みとして、①若手・中堅社員の教育の充実と技術の円滑な継承、②社員の意欲・能力を引き出すための管理者向け教育の充実、③小集団活動方針の一層の推進等の説明があり議論しました。

組合：3点にわたり主な取り組みを掲げているが、具体的に明らかにせよ。

会社：①については、わが社は世代交代にあり、若手社員が多く存在している。当社の喫緊な課題のため若手・中堅の教育の充実を図る。②については、社員のやる気を引き出すために個人の能力を見極めて、より充実した管理者教育を実施していく。管理者の登用時・ベテランについてコミュニケーション研修をこれまでどおりやっていく。③平成18年度からみんなで活動し楽しくレベルアップするというスローガンを掲げて、5年目を一区切りとして活動できる環境作りをより一層推進していく。

組合：この他説明以外の研修もあるのか。

会社：ある。

組合：東海鉄事で運転士のシニア教育がやられているが、本社の教育計画で説明はしないのか。

会社：各鉄事・支社・支店で実態に即して実施している事柄である。

組合：地方でも大きな研修であるから本社として明らかにすべきである。

会社：鉄事の教育は説明することは考えていない。各地方の判断で実施している。

組合：研修の延べ講座数、延べ講義日数、延べ人数を明らかにせよ。

会社：254講座、107,638日、10,785名である。

組合：昨年に続き管理者向けの研修を行っているが、来年度もコミュニケーション研修を実施するとなっているが、会社として成果を明らかにせよ。

会社：効果あったと認識している。研修以外にもOJT等で教育を充実させていく。

組合：輸送責任者養成講座と輸送担当者養成講座を新設するが、現在の業務との関係を説明すること。

会社：平成23年4月から、代用閉そくや信号機の現時停止などの異常時対応として現在の当務駅長を輸送責任者と輸送担当者に分ける事から、講座を新設するものである。また、輸送担当者は、信号・操車担当者となり、輸送補助担当者は、転轍・連結担当となり、手信号・鎖錠も担当することとなる。

組合：主任車両講座は、日数と対象者はだれなのか。

会社：講座日程は2日間で、三島と名古屋に分けて実施する。今年度登用された主任が対象である。

組合：講座内容を明らかにせよ。

会社：主任としてのあるべき姿、安全教育、部下の育成等である。

組合：全体の教育計画を書面で提示せよ。

会社：幹事間で話をする。

以 上